



立野

練馬区立立野小学校

令和2年 2月号

<http://www.tateno-e.nerima-kyo.ed.jp>

「ONE TEAM (ワンチーム) の誇り」

副校長 池田 吉弘

今なお冷めぬラグビーブーム。その反面、今後この盛り上がりをもどのように継続・発展していくかが大事だと関係者が語っています。それは、現状維持ではなく新たな挑戦という意味だと考えます。

昨年の流行語大賞の年間大賞に「ONE TEAM (ワンチーム)」が選ばれました。新元号となった「令和」他8候補を抑えての受賞でした。皆様ご存知の通り、未だ記憶に新しいラグビーW杯で日本代表がスローガンにしていた「ONE TEAM (ワンチーム)」です。

「ONE TEAM (ワンチーム)」とは、チームになるまでの過程、チームに対して抱く心情などで定義づけられています。選手たちの思い、心が一つにならなければチームとして機能しないと考えているのです。

私にもわかファンとして観戦しているとき、はじめて「ウォーターボーイ」の存在を知りました。ベンチ入りできなかった選手が務める役割です。

ワールドカップでは、「最強の給水係」と言われた徳永祥堯さんの存在はチームの中で大きかったといえます。チーム内で次の試合の登録メンバー23名が発表されるたび、そこに自分の名前がないのを見て「とても落ち込んで、なかなか気分が上がらない」こともあったと徳永選手は話していました。それでもサポート役としてチームに貢献しようと気持ちを切り替えてきたといえます。彼は、決してくさらず、誇りをもって自分の役割をこなしていたのだと思います。



今で言えばワンチームにあたるのかもしれませんが。私が5年生の担任だった頃の話です。M君は、元気で明るく給食をよく食べる子でした。私の基本方針は、「よく食べ、よく遊び、よく学ぶ」です。学力・体力とともに、食べることを理解することや食べられることに感謝することは、生きる力の大事な要素だと考えるからです。そうした中で、好き嫌いを言わず、給食をよく食べるM君には感心していました。しかし、ある日M君がいつものように何杯かお代わりをした後、体調が悪いと訴えてきました。よくよく話を聞いてみると、『残菜0学級』を目指すために、まず自分がみんなの見本になろうと無理に食べ続けていたというのです。食べ物を大切にできる学級の実現のためにとのM君の熱い思いと行動により、学級が変わり、みんなの食に対する関心が高まりました。感謝の心で『残菜0学級』にしようとして学級がワンチームになったのです。

今年度本校では、音楽会が開催されました。保護者・地域の皆様からの心温まるメッセージをいただき好評の内に幕を閉じました。音楽会を始めるにあたり、楽器を決めるためのオーディションがありました。みんなが自分の思いの楽器を得られたわけではありません。オーディションに受からなかった子供たちもたくさんいます。それでも、気持ちを切り替えて他の楽器で頑張ろうと前へ進む子供たちの姿が見られました。それぞれの学年が、ワンチームになれたのは、みんなで一つの目標を達成するために、一人一人が新たに自分の役割を考え行動したからだだと思います。また、その陰で子供たちを温かい声援・励ましで支えてくださった保護者や地域の方の力もあって、ワンチームが成立し音楽会の成功につながりました。心より感謝しています。子供たちの心が、苦難を乗り越える経験によって耕された瞬間に立ち会えたことは、見守る立場としてもとても幸せなことでした。子供たちも自信と誇りをもてたことでしょう。私も、そんな子供たちを誇りに思います。今回の音楽会を通して、それぞれの将来につながる良い経験になったと思います。大きな行事は、子供たちだけではなく大人も育てるものだと思いました。

今年度も残り少なくなってきましたが、最後まで立野小もワンチームとなって、良き年度の締めくくりをと願っております。引き続き、ご理解とご協力の程をお願いいたします。

「たてわり」を振り返って

今年度のたてわり遊び

二つの班が一つの教室でそれぞれ活動するため、教室を二つに分けることもあります。



異年齢集団での人と人のかかわり合いの中で、思いやりの心や高学年のリーダー性を育てたいという願いから、「たてわり」が始まって今年で7年が経ちました。

遊びやお弁当集会、たてわり給食など他学年と交流する機会を今年もたくさんもつことができました。また今年度は、土曜学校公開で6年生を中心として、グループで作品のテーマを決め、協力して「カラフルステンド」を作ることができました。

たてわり班を率先して引っ張ってくれた6年生の頼もしい姿を見た5年生も、来年度、立野小学校の新たなリーダーとして活躍してくれることを期待しています。

特別活動部 たてわり担当

たてわりタイム

6年生が考えた遊びをみんなで楽しみます。毎回どんな遊びをするのか楽しみにしています。

心を育てる ~立野の生活指導~

学習用具のきまりを見直そう「持ち物には、名前を書きましょう。」

文房具などは、シンプルなデザインのものにしましょう。
シャープペンシルの使用は、校外学習の時に学年で指定したときのみ使用できます。
青鉛筆は、必要な場合のみ持ってきてもよいです。

学校のきまりの中から、持ち物のきまりにかかわる部分を抜粋しました。
上履きは、前面とかかとの2カ所に記名することになっています。4月に1度全クラスで確認をしています。新しい上履きに替えた場合などに記名忘れが目立っています。文房具は、かわいいものやかっこいいものに目が奪われがちです。学習に集中するためには、他に気が散らないようシンプルな文房具が適しています。今一度、お子さんと一緒に持ち物の確認をお願いします。

たてわり給食

学年ごとに役割分担をして、給食の準備をします。会話が弾み、笑い声の絶えない時間になっています。



たてわり遊び

たてわり給食の後は、立野公園に移動して班ごとに遊びます。もう、すっかり活動に慣れてきました。



たてわり造形活動 1/11



教室がとても華やかになりました。班によって作品のテーマが違います。



配色を工夫したり、窓に貼った時の様子を想像したりしながら協力して作っていました。

2月の行事予定

※2月の避難訓練は予告なし

1	土	
2	日	
3	月	全校朝会 委員会
4	火	M 関町保育園交流(1)
5	水	M
6	木	M
7	金	よみママ
8	土	土曜公開日 道徳授業地区公開講座
9	日	
10	月	全校朝会 クラブ(3年クラブ見学)
11	火	建国記念の日
12	水	特別時程 午前授業
13	木	児童集会 選挙体験学習(6) 5.6校時
14	金	M コピースクール交流(1)
15	土	
16	日	
17	月	全校朝会 クラブ
18	火	M 新一年生保護者会(1年生4時間授業)
19	水	M ユニセフ募金
20	木	体育集会 ユニセフ募金 カトレヤ幼稚園交流
21	金	よみママ
22	土	
23	日	天皇誕生日
24	月	振替休日
25	火	M
26	水	たてわり
27	木	M 保護者会(5.6) 社会科見学(3)
28	金	M
29	土	

M: モジュール

【ユニセフ募金】

2月19日(水)と20日(木)に、代表委員会の児童がユニセフ募金活動を行います。ユニセフ募金で集められたお金は、世界の子供たちの命を守り、健やかに成長していくために使われます。

73円で栄養素パウダー30袋

150円でポリオワクチン10回分

を支援が必要な子供たちに送ることができます。代表委員は2月17日(月)の全校朝会で募金を呼びかけていきます。ぜひご家庭でも話題にしてください、ご協力いただけるとありがたいです。

【道徳授業地区公開講座】

2月8日は、今年度最後の土曜公開日で、「道徳授業地区公開講座」を実施します。今回は、2校時(9:20～)に各学級で道徳の授業、3校時(10:15～)に保護者、地域の方向けの講演会を、引き続き体育館で行います。

講師は昨年度に引き続き、練馬区教育委員会指導主事の海馬澤一人先生をお迎えし、「これからの道徳教育～学校・家庭・地域が共に子供の自尊感情を育てる～」をテーマに、お話をいただきます。詳しいことは、先月配布いたしましたお便りをご覧ください。

なお3校時は講演会のため、授業公開はいたしません。多くの皆様のご参加をお待ちしています。

教室の窓から



2年2組

担任

2年2組では、「みんなハッピー」になることを大切にしています。

クラスでは、「会社」を立ち上げ、自分たちの手で自分たちの生活をハッピーにする活動が盛んです。今までに、乱れた本棚を整理する会社、お笑いを披露する会社、先生と交渉して学活の時間を生かしてお化け屋敷を運営する会社など、様々な会社が設立され、クラスの友達を楽しませてきました。そして今も新たに会社を立て直すなどしながら、毎日活発に活動しています。

今はまだクラスが対象ですが、やがて高学年になれば学校全体へ、大きくなったら社会全体へ、自ら参画していこうとする人間に成長してほしいと考えています。

4年1組

担任

「手が空いている人、手伝って!」「OK!」「まだおかわりできる人?」「はい、わたし食べられるよ。」「ぼくも、ぼくも。」給食の時間、教室に響き渡る声の主は4年1組の子供たちです。目標の時刻までに準備を終えようとみんなで助け合い、食缶を空っぽにするためにたくさんおかわりをする姿からは、大切な仲間との日常を楽しみながら、前向きに学校生活を送ろうとする意欲が感じられます。

たくさん学び、たくさん食べ、そしてたくさん笑うクラスはいつもにぎやかです。4年生も残り2か月。持ち前の明るさを武器に、5年生に向けて、さらに進化を遂げていきます。